

平成 30 年度第2回水戸市立博物館協議会

日時 平成 31 年 2 月 22 日 (金)

午前 10 時 30 分から

場所 水戸市立中央図書館・博物館
3 階視聴覚室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議 題

(1) 報告事項

- ・夏休み子どもミュージアム「妖怪さまのお通りだい！Ⅱ」—妖怪さまは今年も絶好調！！—の結果報告について
- ・特別展「みと歴史探訪—明治・大正期の水戸に行く—」の結果報告について
- ・平成 30 年度教育普及事業の結果について
- ・平成 31 年度博物館予算(案)について

(2) 協議事項

- ・特別展「水戸城遙かなり」の開催について
- ・平成 31 年度博物館運営方針及び努力目標について

(3) その他

9 閉 会

水戸市立博物館協議会委員名簿

(任期:平成30年7月15日～平成32年7月14日)

氏名	役職等
長谷川 聡	市学校長会代表 鯉淵小学校校長
河原 将子	市文化振興協議会委員
和田 祐之介	市商工会議所名誉会頭
岡田 貴子	県生涯学習・社会教育研究会評議員
桐原 幸一	茨城生物の会事務局長
小坏のり子	県弘道館事務所学芸員・主任研究員
小菅 次男	茨城生物の会会長
笹目 礼子	県立歴史館副参事兼歴史資料課長
鈴木 暎一	茨城大学名誉教授
玉川 里子	学識経験者
塚原 正彦	筑波学院大学経営情報学部教授
藤 和博	県立石岡第一高等学校定時制課程教頭
藤本 陽子	学識経験者
吉川 明宏	茨城県教育庁総務企画部文化課主査
小泉 康二	市議会代表

(順不同・敬称略)

【報告事項】

夏休み子どもミュージアム

「妖怪さまのお通りだい!! II」

— 妖怪さまは今年も絶好調 !! —

1. 趣旨

昔、日常使われていた道具が古くなって捨てられると魂を持って、「付喪神(つくもがみ)」とよばれる妖怪になった。中世から江戸時代にかけて活躍した絵師たちは、さまざまな器物(道具)の妖怪たちが夜に行列をなして騒ぐ有り様を描いている。道具を粗末にする人間たちに怒って妖怪となって人を脅かしているのに、登場する妖怪たちは、捨てられた道具類を頭にかぶったり、綱などでひきずっているなど、ユニークな姿に描かれている。

そして日の出を迎えると、一斉に慌てふためいて引っ込む様子も実にユーモラスである。

今回の子どもミュージアムでは、器物(道具)の妖怪である「つくも神」の姿を借りてさまざまな昔の道具を子どもたちに紹介するとともに、ものを大切にするという心を伝えたい。

2.開催日時 平成30年7月21日(土)～8月26日(日) 32日間

3.入館者数 10,459人
(内訳) 一般 5,189人
幼児 5,270人

4.主催・開催場所 水戸市立博物館
4F展示室、3F展示室

5.入場料 無料

6.関連行事

関連行事は、(1)会場内で常時行われるものと(2)日時を決めて行われるものに分けた。(いずれも無料)

(1)会期中通しでできるワークショップ(4F展示会場)

・妖怪をやっつけろ!(弓矢体験)

・妖怪クイズ、妖怪天気予報

・妖怪を作ろう(ワークショップ)

(笑うドクロ、ろくろっ首、踊るガイコツ、ちょうちんオパケ、オリジナルかざ車、妖怪ぬり絵)

・「つくも神」と一緒に道具体験

(かき氷体験2種、薬研、石臼、大太鼓、ダイヤル式黒電話)

(2) 開催日を限って開催したもの

- ・駄菓子屋「つくも屋」開店 (7/22、7/28、8/11、8/12、8/26)

開店時間 1:30~16:00

つくも神が開く駄菓子屋、お金ではなくワークショップのポイントで両替した「つくも銭」で駄菓子を買うことができる。

(1日で使えるポイントの上限有) 駄菓子完売のときは、店じまい。

- ・夏休み絵画教室 「妖怪を描こう!」

(8/18、8/25) 1:00~15:30 講師 さかい ひろこ氏

事前募集 各日定員20名

参加者 8/18 40名(保護者も含) 8/24 40名(保護者も含)

合計 80名(保護者も含)

- ・こわーい話

(7/29、8/5) 各日とも 11:00~11:30、14:00~14:30

講師 西野 ひとみ氏

- ・親子で一緒に 工作教室 各日とも 14:00~15:30

(1) 「森の妖怪大集合」 ドングリや松ボックリ等自然の材料を使って妖怪を制作。

7/22、講師 小菅 次男氏・小菅 由紀子氏 定員 20名(事前申し込み)

参加者 42名(保護者も含)

(2) 「妖怪よ、まわれ!」 ブンブン妖怪ゴマ、妖怪花ぐるまを制作。

7/28、

講師 高村 晴幸氏

定員 20名(事前申し込み)

参加者 50名(保護者も含)

- ・「ちんどん夢乃家、参上!」ちんどん、外郎売り口上、南京玉すだれ、妖怪体操

7/29、8/4、8/26(妖怪フィナーレだよ!) 10:00~11:00

講師 小松崎 美恵子氏

- ・ドドーンと妖怪さまがやってくる! (和太鼓演奏)

7/21(妖怪オープングだよ!) 11:00~11:40、14:00~14:40

8/19 14:00~14:40のみ

演奏 和奏(わかな)

- ・妖怪まつりだよ! 8/4、10:00~16:00

① ちんどん夢乃屋、参上 10:00~11:00 講師 小松崎 美恵子氏

② トークと切り絵のパフォーマンス 11:00~11:30、14:00~14:30

紙切り芸人 林家 楽一氏

③ バルーンアート 11:30~12:00、13:30~16:00

講師 井澤 裕之氏

- ・ 妖怪マーブリング 妖怪模様を作ってみよう!

7. アンケート結果 (回答総数 72名、複数回答)

・今回の展覧会について

① この展覧会を何でお知りになりましたか？

- ・ポスター 7名
- ・チラシ 37名
- ・人から聞いて 6名
- ・インターネット 9名
- ・博物館・図書館に来てみて 8名
- ・TV・ラジオ 4名
- ・雑誌・タウン誌 1名
- ・広報みと 4名
- ・新聞 2名
- ・その他(観光案内所) 1

② この展覧会に対するご意見やご感想

- ・とても楽しく、子供達も喜んで工作や体験に取り組んでいた。
- ・弓矢が楽しかった。
- ・会場が撮影OKだったのが、うれしかった。
- ・以前の妖怪展が楽しかったので、楽しみにきた。今回もよかった。
- ・工作と体験がよかった。
- ・子供向けといっても、展示物は本格的だった。
- ・かつての谷中周辺のお店の手ぬぐいを見て、とても懐かしかった。
- ・工作を教えていただいたボランティアさんがとても親切だった。
- ・スタッフの方のアイデアに脱帽。
- ・入場料が無料なのも助かる。
- ・ワークショップがあるし子供が飽きなくてよい。
- ・体験型は、子供達の集中が続くのでよい。

・博物館について

① 今まで水戸市立博物館に来たことはありますか？

- ・よく来る 6名
- ・何度か来たことがある 30名
- ・あることは知っていたが、来たことはなかった。 23名
- ・あることを知らなかった。 7名

② 博物館へのご意見やご希望

- ・図書館の入り口や4F展示室の途中に「こちら」の表示があるとよい。
- ・駐車場が狭い。
- ・身近な動植物をもっと展示して欲しい。
- ・漢字が読めない子どもにも、わかりやすい説明があるとよかった。

③ 今後開いて欲しい展覧会について

- ・和楽器
- ・昔のおもちゃ遊び
- ・わたり鳥
- ・恐竜
- ・昆虫
- ・SL

・お客様について

① お住まい

・水戸市内 35名

・市外 30名 (茨城町・ひたちなか・常陸大宮・小美玉・那珂市・
常陸太田・阿見町・東海村・石岡・流山・東京)

② どのような交通手段で、いらっしやいましたか。

・車 54名 ・電車 1名 ・自転車 3名

・徒歩 9名 ・バス 2名

③ 性別

・男 12名

・女 47名

④ 年齢

・9歳以下 1名

・10代 4名

・30代 22名

・40代 26名

・60代 3名

・70代以上 2名

【報告事項】

特別展「みと歴史探訪—明治・大正期の水戸を行く—」の結果報告について

1 要旨

明治4(1871)年に廃藩置県が断行されたが、水戸は幕末期の動乱をひきずりながらの新たな県政のスタートとなった。

しかし新たな時代の胎動として、さまざまな文化の誕生をみた。日本画の改革を目指し近代日本画壇を牽引した画家・横山大観(1868-1958)が生まれ、また第19代横綱として活躍し後に「角聖」と呼ばれた常陸山谷右衛門(1874-1922)も、ほぼ同時期に誕生している。さらに明治22(1889)年には、文明開化の象徴とされる鉄道が走り始め(水戸-小山間)、水戸駅が開業した。そして同年4月、市制が施行され、水戸市が誕生した。

またこの頃の千波湖は、現在の約4倍もの大きさがあり、ジュンサイが採れ、エビ漁なども行われ、現在とは異なる風景を見せていた。

本展覧会では、当館の全部門の所蔵資料から、明治・大正期の水戸のさまざまな事象に関係する資料を展示することによって、この時代の水戸の様子を紹介する。

2 開催日時

平成30年10月20日(土)～11月25日(日) 32日間

3 主催・開催場所

水戸市立博物館・4F展示室、3F展示室

4 入場料

一般200円(20名以上の団体は150円)

高校生以下、65歳以上、障害者手帳・療育手帳所持者と付き添い1名は無料
その他各種割引あり

5 入場者数

区分		人数
普通(200円)	一般	533
団体(150円)	一般(20名以上)	32
無料	招待券	687
	小・中学生	740
	高校生	43
	幼児	35
	65歳以上	1,482
	障害者等	74
合計		3,626

6 関連行事

みと歴史講座

テーマ	期 日	講 師	参加人数
石河明善と弘道館	10月27日	宮田正彦氏	37
石河明善日記に見る明治維新	11月24日	久信田喜一氏	42
		合計	79

7 アンケート集計結果

○展覧会を何で知りましたか（複数回答）

ポスター	9	新聞	9	図書館博物館に来てみて	4
チラシ	14	雑誌・タウン誌	1	その他 (茨大の先生の紹介・社会 科見学)	5
広報みと	9	テレビ・ラジオ	18		
インターネット	8	人から聞いて	9		

○この展覧会についての意見や感想

- ・とても興味深い展覧会
- ・水戸の歴史・文化・教育など知らなかったことが多く、非常に感銘を受けた。一日では足りなかった。
- ・古い写真が展示してあって、楽しかった。
- ・水戸駅の4代目以降の駅舎を写真でも良いから展示して欲しかった。
- ・展覧会の開催をもっと早く知りたかった。広報活動を多くして欲しい。
- ・水戸に住んで30年になるが、千波湖が大きかったこと、水浜電車など知らないことがたくさんあった。興味深い展示で楽しかった。
- ・水戸の人みんなに見てもらいたい。今の小学生たちに見て欲しい。
- ・このような企画を今後も行なって欲しい。
- ・昔のこの辺のことが学べたり、詳しく絵や説明があったので、小さい私でもとても分かりやすかった。これからも博物館をがんばって下さい。
- ・水戸の歴史のことが下市—上市まで歩いて見られるようになっていて、勉強になった。
- ・おもしろい。歴史小学生の心をふるわせます。
- ・来てビックリ。こんな水戸の歴史は初めて見た。とても楽しく、分からないことも納得出来た。
- ・動物や歴史は教科書でしか見たことがなかったものが多かったので、とても見応えがあり、楽しかった。
- ・物を残すことの大切さを改めて感じた。
- ・明治・大正の資料が残っていることに感心した。
- ・紹介資料が多く、大変参考になった。
- ・水戸近辺の自然や産業、有名人（武石浩波など）について知らなかった内容が多いので楽しかった。もっと知らせるようにして水戸の良いところをPRして欲しい。

○博物館について

よく来る	14
------	----

何度か来たことがある	34
あることは知っていたが来たことはなかった	21
あることを知らなかった	10

○博物館の全体的な展示や施設、運営などについての意見や希望

(展示)

- ・もっと戦争時代の物があって欲しい。
- ・水戸にいる生き物などが展示されていて、実際にさわれるコーナーもあって楽しい。
- ・ケース内に展示している説明の文字を大きくして欲しい。
- ・クイズも楽しんでできた。
- ・通路の広さもよく、展示物が見やすい。

(施設)

- ・駐車場が少ない。いつまでも昔のまま、恥ずかしくありませんか。一日も早く移転して下さい。

(運営)

- ・PRに力を入れたほうがよい。

○今後開いてほしい展覧会

- ・常磐小学校 ・昔の小学校 ・水浜電車 ・水戸の明治～昭和初期の建築写真展 ・安泰のスイッチョねこの展示をまたやってほしい ・常陸山など相撲関連の展示（水戸泉、雅山、勝田出身の式守伊之助など） ・郷土の食について ・千波湖の今昔 ・那珂川流域の変遷 ・所蔵品の展覧会 ・水戸藩や水戸市の歴史 ・徳川以前の水戸の歴史 ・明治維新関連 ・水戸城に関すること ・東照宮の祭
- ・野球の展示 ・江戸時代の文化史 ・昔の生き物 ・水戸近辺にいつ頃から人が住み着いたのか
- ・戦争について（太平洋戦争 水戸空襲 水戸歩兵第二聯隊）

○回答者（アンケート回収 79 枚）

住 所

水戸市内	54
水戸市外	22 [ひたちなか市 8 笠間市7 鹿嶋市・日立市・常陸大宮市・大洗町 ・富山市・仙台市・東京都北区 各1]

来館の交通手段（複数回答）

電車	8	バス	4	自家用車	43	タクシー	0
バイク	2	自転車	7	徒歩	21	その他	0

性別

男性	31
女性	34

年齢

9才以下	10	10代	14	20代	0	30代	1	40代	8	50代	7	60代	13	70才以上	25
------	----	-----	----	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	----	-------	----

【報告事項】

平成 30 年度教育普及事業の結果

1 学校連携事業（平成 31 年 2・3 月予定分を含む）

① 体験講座・見学等

内 容	校数	内 訳	人数	備 考
むかしの道具の実体験講座と 博物館見学	31	小学校 29 義務教育学校 1 盲学校 1 聾学校 1	1,837	小学 3 年生
社会科（戦争）出前授業	1	小学校 1	88	小学 6 年生
博物館見学	11	中学校 5 高校 1 大学 1 その他 4	621	
職場体験	-		-	
総合学習	-		-	
町探検	-		-	
学芸員見学実習	-		-	
講演	-		-	
合計	43		2,546	

② 学校への資料の貸出

資料の種類	校数	内 訳	資 料 内 容
戦争関係資料	4	高校 4	写真パネル, 軍服, 焼夷弾, 艦砲弾破片, 手榴弾, 千人針等
むかしの道具	1	小学校 1	たらい, 洗濯板, 火のし, 炭火アイロン
合計	5		

2 夏休み子どもミュージアム

① 「妖怪さまのお通りだい!! II」の開催

会期：平成30年7月21日（土）～8月26日（日） 32日間

会場：博物館4階展示室

入場者数：10,459人

3 ぴ～すプロジェクト

① ぴ～すクイズ

期間：平成30年8月1日（水）～8月31日（金）

会場：水戸市立博物館，水戸市平和記念館，水戸芸術館

内容：3館でスタンプラリーを実施（博物館はクイズ参加者にスタンプ）

クイズ参加者：140人 博物館での景品引き換え者：16人

② わたしは戦争を忘れない—未来に伝えたい記憶—

会場：県立歴史館講堂

期 日	話 者	参加人数
8月2日	小菅次男氏，三橋昭子氏	141
8月15日	前島キヨ氏，三村節氏	197
	合計	338

4 地域連携事業

① 三店ものがたり

※三店ものがたり自体が中止

5 その他

① みと歴史講座 ※特別展「みと歴史探訪」

テーマ	期 日	講 師	参加人数
石河明善と弘道館	10月27日	宮田正彦氏	37
石河明善日記に見る明治維新	11月24日	久信田喜一氏	42
合計			79

② 自然観察会

テーマ	場 所	期 日	講 師	参加人数
春の植物観察会	逆川緑地	5月26日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	11
夏休み昆虫観察会 ※猛暑・台風のため中止	逆川緑地	7月28日	佐々木泰弘氏	-
秋の植物観察会	逆川緑地	10月13日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	17
春を待つ冬芽・葉痕の観察会	逆川緑地	1月19日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	21
溜沼野鳥観察会	茨城町 溜沼湖畔	2月2日	後藤俊則氏	11
合計				60

③ かえっこ

名 称	期 日	参加人数
夏休みかえっこ	8月5日	385
クリスマスかえっこ	12月9日	374
合計		759

④ その他の講座

講 座 名	期 日	講 師	対 象
源氏物語女人絵巻 —永遠の思い人 藤壺の宮—	1月24日	坂本京子	三の丸女性会 30名
源氏物語女人絵巻	2月25日	坂本京子	五軒さわやか学級

⑤ 学校以外への資料の貸出 (平成 31 年 1 月 31 日現在)

資料の種類	件数	内 訳	資 料 内 容
自然資料	1	東海村立図書館	昆虫標本等21点
歴史資料	2	大洗町幕末と明治の博物館 土浦市立博物館	追鳥狩肩章等5点 空襲予告ビラ・焼夷弾筒2点
民俗資料	1	常陽史料館	常磐線関係写真パネル等14点
美術資料	6	ショナルギャラリーオブアート(米国) 茨城県民文化センター 名古屋市博物館 国立国際美術館他2館 茨城県立近代美術館 佐賀県立美術館	櫻井雪保「龍虎図屏風」1点 吉澤鐵石書1点 櫻井雪館作品8点・月僊作品1点 ボルタンスキー作品1点 横山大観「水温む」1点 辻永作品103点

⑥ 写真・画像使用の許諾 (平成 31 年 1 月 31 日現在)

資料の種類	件数	内 訳	資 料 内 容 (使用 場 所)
自然資料	1	写真展示 1	・市之川鉱山産輝安鉱1点 (西条市市之川公民館)
歴史資料	28	写真展示 4	・水戸城復元想定模型画像3点 (弘道館) ・錦絵「耕雲斎筑波山籠」1点 (鎌ヶ谷市郷土資料館) ・錦絵「耕雲斎筑波山籠」等2点 (日本遺産講演会, 水戸市少年自然の家) ・横山大観写真等2点 (茨城県立歴史館)
		映像 6	・水戸城三階櫓写真等3点 (水戸市明治維新150年記念事業) ・水戸城想定復元模型1点 (水戸市明治維新150年記念事業) ・快風丸復元想定模型1点 (TBS「世界ふしぎ発見!」) ・錦絵「耕雲斎筑波山籠」1点 (NHK「新日本風土記」) ・小川芋銭「風児」1点 (常陽藝文センター企画展作家紹介) ・錦絵「耕雲斎筑波山籠」1点 (深谷市尾高惇忠生家歴史紹介)

		プロジェクト ター 5	<ul style="list-style-type: none"> ・錦絵「耕雲斎筑波山籠」等17点（研修会） ・水戸城下絵図等17点（研修会） ・弘道館図1点（弘道館） ・水戸市航空写真1点（弘道館） ・弘道館図1点（報告会）
		デジタル 掲載 1	<ul style="list-style-type: none"> ・水戸城大手門写真1点（宮下銀座商店会HP）
		書籍掲載 4	<ul style="list-style-type: none"> ・石河明善日記画像1点（『玉造史叢』） ・錦絵「耕雲斎筑波山籠」1点 （『幕末時事名鑑』） ・ポスター「開け満蒙の大沃野 満蒙開拓青少年義勇軍」1点 （『中学校社会科 歴史的分野』教科書） ・空襲予告ビラ・焼夷弾筒2点 （『町の記憶—空都土浦とその時代』図録）
		資料掲載 2	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田英雄写真1点 （水戸市歴史的風致維持向上計画（第2期）） ・青門肖像等3点 （明治維新150年記念日本遺産講演会記録集）
		広報印刷物 掲載 6	<ul style="list-style-type: none"> ・大正9年創立の水戸高等学校写真等2点 （茨城大学パンフ） ・水戸城三階櫓絵はがき等2点 （水戸学の道パンフ） ・水戸城下絵図等3点（水戸の城下町マップ） ・水戸城三階櫓写真等2点（水戸の城下町マップ） ・千湖分間全図1点（水戸の城下町マップ） ・弘道館写真等6点 （茨城県情報誌「わくわくライフいばらき」）
民俗資料	2	写真展示 1	<ul style="list-style-type: none"> ・常磐線車両写真9点（常陽史料館）
		映像 1	<ul style="list-style-type: none"> ・初代水戸駅舎写真1点（日テレ「バゲット」）
美術資料	4	書籍掲載 1	<ul style="list-style-type: none"> ・上田薫作品1点（『上田薫画集』）
		資料掲載 1	<ul style="list-style-type: none"> ・横山大観画像1点 （水戸市明治維新150年記念史跡めぐり）
		広報印刷物 掲載 2	<ul style="list-style-type: none"> ・横山大観画像1点 （水戸市横山大観生誕150年記念セミナー） ・櫻井雪保「龍虎図屏風」1点 （水戸市広報誌「広報みと」）

【報告事項】

平成 31 年度博物館予算（案）

（単位：千円）

区分（主な内訳）	31 年度 当初予算額	30 年度 当初予算額	差引 増減額
○博物館運営管理に要する職員給与費 職員給与費（5人）	34,576	35,927	△1,351
○博物館行事関係経費	12,600	12,700	△100
常設展示・教育普及事業等	1,800		
企画展「水戸藩の学校」	2,500		
特別展「山田みのる」	5,500		
特別展「水戸の大地の成り立ち」	2,800		
○博物館運営関係経費	17,023	18,192	△1,169
「石河明善日記」刊行事業	1,092	1,300	△208
施設管理に係る光熱水費，修繕料，委託料	8,402	9,243	△841
くん蒸作業委託	2,155	2,144	11
嘱託員関係（1人）	2,091	2,091	-
博物館協議会及び資料収集専門委員報酬	290	290	-
○大塚農民館関係経費	289	287	2
維持管理費（委託料等）			
○芸術振興基金費（運営関係経費から新設）	26	26	-
芸術振興基金積立金（利子収入の充当）			
合 計	64,514	67,132	△2,618

<平成 31 年度の主な行事開催予定>

夏休み子どもミュージアム「水戸藩の学校」（仮称）期間：2019年7月20日～8月25日
水戸藩にはどんな学校があり，どんな勉強をしていたのかをわかりやすく紹介する。
特別展「大正の漫画家・山田みのる」（仮称）期間：2019年10月20日～11月24日
山田みのるが描いた愉快的な時事漫画や風刺漫画，児童漫画などを紹介する。
特別展「水戸の大地の成り立ち」（仮称） 期間：2020年2月9日～3月15日
地形立体模型や岩石標本などを展示し，現在の茨城県内の地質や地形に見られる日本列島形成の痕跡をたどる。

【協議事項】

明治維新 150 年記念事業

特別展「水戸城遙^{はる}かなり」開催要項

1 開催趣旨

水戸の台地の先端に位置する水戸城は、中世の江戸氏、佐竹氏の時代を経て、江戸時代を迎え水戸徳川氏の拠点となった。水戸徳川氏のもと、城及び城下町の整備が進められ、水戸城は政庁として藩政の中心的な役割を担った。しかし、明治以降は、明治5年(1872)の水戸城放火事件、その後の解体、水戸空襲などでその姿は失われ、現在往時を語るものは薬医門や土塁、空堀などごく一部だけとなっている。

近年、旧水戸城内に、柵町坂下門、杉山門が建てられるなど、城跡らしい景観の整備が行われた。さらに、大手門・二の丸角櫓の復元事業も進められ、水戸城に対する市民の関心が高まりつつある。

本展覧会では、調査によって得られた資料をもとに、往時の水戸城の姿を紹介していく。

2 会 期

平成31年2月10日(日)～平成31年3月17日(日) 32日間

月曜休館、ただし2月11日(月)、2月25日(月)は開館

3 会 場

水戸市立博物館 4,3階展示室

4 主 催

水戸市立博物館

5 入 場 料

一般200円(20名以上の団体料金150円)

高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳及び療育手帳所持者とその付き添いの方1

名は無料

その他各種割引あり

6 展示資料

・「水戸旧城之図」(松戸市戸定歴史館所蔵)

- ・「水戸城盛土層はぎとり標本」(茨城県立歴史館所蔵)
- ・「水戸城復元想定模型」(館蔵)
- その他関連資料

7 出版物

ポスター, チラシ, 図録

8 関連行事

◆2月9日(土) 13:30~14:10

プレコンサート「水戸城発☆世界の音楽紀行」

演奏 アンサンブル・マレット (マリンバ)

会場 3階展示室

◆2月17日(日) 11:00~11:30 14:00~14:30

和太鼓ライブ「水戸の城下は大賑わい！」

演奏 和奏

会場 3階展示室

◆2月23日(土)、3月17日(日) 両日とも 11:00~14:30

水戸城ウォーキング

定員 20名

料金 100円

申込 平成31年2月10日(日)から午前9時から電話受付, 先着順

◆2月24日(日)、3月16日(土) 両日とも 11:00~12:00、14:00~15:00

ギャラリートーク

会場 4階・3階展示室

◆3月9日(土) 13:30~15:00

講演会「水戸城の昔日の姿~天守と城門と御殿の魅力~」

講師 三浦正幸(広島大学名誉教授)

定員 200名

申込 平成31年2月14日(木)午前9時から電話受付, 先着順

会場 みと文化交流プラザ6階大会議室

◆2月21日(木)~3月2日(土) 9:30~16:00

スタンプラリー

用紙配布場所 水戸市立博物館, 水戸城跡二の丸展示館

【協議事項】

平成 31 年度博物館運営方針及び努力目標（案）

運営方針

郷土水戸に関わりのある自然，歴史，民俗，美術等の資料を収集・保管するとともに，展覧会の開催等を通して，郷土の歴史や文化，自然にふれることのできる機会を提供するなど，地域，学校との連携のもと，市民が楽しむことのできる教育普及事業の充実に努める。

努力目標

1 特別展等の開催

- (1) 特別展・企画展等を年 3 回開催して，郷土の歴史や文化，自然に対する新たな視点からの興味・関心を呼び起こし，市民文化の向上に努める。
- (2) 展覧会の関連行事など博物館外での活動を実施して，展示の補完に努める。

2 収蔵品等による常設展の開催

- (1) 調査・研究・展示等に活用するため，郷土に関する自然・歴史・民俗・美術等の資料の収集に努める。
- (2) 新たに収集した資料の公開を積極的に行うなど，常設展の展示内容の充実に努める。

3 博物館資料「石河明善日記」刊行事業の推進

- (1) 「石河明善日記」第 2 巻（6～10 冊）を刊行し，平成 24 年度より解読を進めてきた成果の公表に努める。

4 小・中学校等との連携事業の推進

- (1) 小学校等の校外学習としての博物館見学を受け入れて，むかしの道具の実体験講座を実施するほか，出前授業や資料の貸出を行うなど，学校教育との連携に努める。

5 各種教育普及事業の推進

- (1) 戦争体験者による語り部事業である「わたしは戦争を忘れない」を実施し，平和の大切さを啓蒙するとともに，記憶が風化しないよう記録に努める。
- (2) 自然観察会等など博物館外での活動を実施して，市民が楽しむことのできる教育普及事業の充実に努める。

6 市民・地域との協働事業の推進

- (1) 郷土に関する自然・歴史・民俗・美術等の知識を持つ博物館ボランティア等と連携して，資料の収集や各種教育普及事業の実施に努める。